

# 2024 年度（令和 6 年度）事業計画書

自令和 6 年 8 月 1 日至令和 7 年 7 月 31 日

公益財団法人日本ヘルスケア協会

## I. 事業の概要

### 1 目的

当法人は、セルフメディケーションの普及啓発とともに、ヘルスケア産業育成の実現を目指し、以て医療費の軽減並びに超高齢化社会における健康寿命延伸を一層強化させることを目的として下記事業を展開する予定である。

### 2 事業の種類

- (1) 研究助成事業
- (2) セミナー事業
- (3) 情報収集・提供事業
- (4) 普及推進事業
- (5) その他当協会の目的を達成するために必要な事業

## II. 主な業務内容と組織

### (1) 研究助成事業

公衆衛生の向上及び高齢者福祉に関する研究活動にかかる関係者の活動を、公募により助成する。

### (2) セミナー事業等

ヘルスケア、セルフチェック等に関する時機に応じたテーマを選定し、有識者を講師としたリアルないしは WEB によるセミナーを行う。

### (3) 情報収集・提供事業

ヘルスケアの推進に資するエビデンスを収集し、また新たに創出する学術的な活動を行うヘルスケア学会活動、ヘルスケアを推進するに際して、具体的な課題・問題の解決を図る方策を検討し、条件整備を行うヘルスケア協議会活動、学会、協議会活動のうち活発なものを、順次常設研究機関として中長期的に設立予定の当協会附属研究所に移設する。

1 上記 (1) の事業については、一昨年度から開始しており、順調に推移している。

本年度の事業については、昨年度までの応募状況、採択プロジェクトの進捗状況等の精査を早急に行い、選考委員会を開催して実施概要を詰め、2024 年 11 月を目途に 2024 年研究助成事業公募を行う。

なお、2025年4月末の2023年度研究助成事業の事業期間終了後には事業評価を行うとともに、研究成果の発表会を開催（7月25日14:00～16:00）する予定である。

- 2 上記（2）の事業については、日本ヘルスケア産業協議会傘下の各部会から提案されているセミナーを踏襲して実施する他、時機に応じたテーマに関する講演会・研究会等を開催する。（前年度事例としては、7月5日14:00～16:00 野菜で健康推進部会主催セミナー「今後の農産物の調達を深掘する～生産から流通、そして消費者とともに考える～」等多数。）

なお、2023年実施の（1）研究助成事業の対象者による研究成果発表の機会も提供していく。

- 3 上記（3）の事業を従前どおり継続する。  
2023年3月に開催した第4回年次大会は無償で利用できる明治大学の規程により、次回は令和7年の開催となる。
- 4 普及啓発について  
（1）～（3）の活動成果を、ホームページでの報告及び出版・動画制作その他の方法により一般市民に公開し、ヘルスケア及び健康寿命延伸に関する最新かつエビデンスに基いた正しい情報を発信していく。

### III. 具体的な事業実施案

#### （1）研究助成事業

##### 1）2024年度ヘルスケア研究助成事業

- ①公募期間：2024年11月1日（金）～2025年1月31日（金）
- ②募集方法：JAHI ホームページ掲載、主要研究機関等へのDM、協力団体等のホームページ掲載、関連雑誌・新聞等へのパブリシティ、その他
- ③選考委員会の開催：2025年4月上旬開催
- ④採択者発表：2025年4月中旬
- ⑤助成金の交付：2025年4月下旬（1件当たりの限度額100万円×5件採択予定）

##### 2）研究助成事業成果発表会の開催

#### （2）セミナー事業

##### 1）プラネタリーヘルス・イニシアティブ（PHI） シンポジウム

- ①開催日時：2024年8月3日（土）13:30～16:30
- ②会場：鳥取県米子市淀江文化センター・さなめホール（後刻、録画をWEBで配信の予定）
- ③概要：基調講演「プラネタリーヘルスと世界における山陰の役割～日本の視座が世界最先端となる自然共生社会」  
パネルディスカッション「ネイチャーポジティブ視点にたった医食農連携と観光の可能性」
- ④講師：PHI代表理事による基調講演の他、関係外部専門家を招聘

##### 2）野菜で健康推進部会に所属する野菜食WG、表示ルールWG、生命食WGの3WGが交代で主催するセミナー

- ①開催頻度：2024年8月～2025年7月の期間に4回程度開催
- ②会場：JAHI多目的ホールにおけるリアルとともにZoomによるオンラインで公開開催
- ③概要：各WGでの検討結果のうち、話題性・独自性のあるテーマを選定し、公開実施
- ④講師：各WG構成員の他、農業指導者等、関係外部専門家を招聘

### 3) 生き生きライフ（フレイル対策）部会主催セミナー

- ①開催頻度：2024年8月～2025年7月の期間に2回程度開催
- ②会場：JAHI多目的ホールにおけるリアルとともにZoomによるオンラインで公開開催
- ③概要：同部会での検討結果のうち、「官民連携による『支え合う地域づくり』」等、フレイル対策一般に関して話題性・独自性のあるテーマと講師を選定し、公開実施
- ④講師：同部会構成員の他、地方自治体職員等、関係外部専門家を招聘

### 4) ドラッグストア在宅介護推進部会主催セミナー

- ①開催頻度：2024年8月～2025年7月の期間に2回程度開催
- ②会場：JAHI多目的ホールにおけるリアルとともにZoomによるオンラインで公開開催
- ③概要：「足病医の活動」、「訪問薬剤師・訪問管理栄養士の活動」等、在宅介護に関して話題性・独自性のあるテーマと講師を選定し、公開実施
- ④講師：同部会構成員の他、医師・薬剤師・管理栄養士等、関係外部専門家を招聘

### 5) 健康まちづくり部会主催セミナー

- ①開催頻度：2024年8月～2025年7月の期間に2回程度開催
- ②会場：JAHI多目的ホールにおけるリアルとともにZoomによるオンラインで公開開催
- ③概要：中野区役所実施の、充実した「暮らしの状況と意識に関する調査」をデータベースとして、シニア予備世代に対する効果的な引きこもり対策の提案等、まちづくりに関連する健康問題一般に関して、話題性・独自性のあるテーマと講師を選定し公開実施
- ④講師：部会構成員の他、東京都中野区を中心とした地方自治体職員等外部の専門家を合わせて招聘

### 6) 健康経営部会主催セミナー

- ①開催頻度：2024年8月～2025年7月の期間に2回程度開催
- ②会場：JAHI多目的ホールにおけるリアルとともにZoomによるオンラインで公開開催
- ③概要：経済産業省のヘルスケア政策に沿ったテーマ（例えば「ビジネスケアラーの実態と企業に求められる取り組み～わが国における仕事と介護の両立困難による経済損失」）を選定し公開実施
- ④講師：部会構成員の他、健康経営の推進に責任ある中央官庁、地方自治体の職員や健康経営の推進を企業内ないしは企業グループ内で民間企業担当者等を講師

に招聘

## 7) 昭和女子大学「ビジネス開発研究 B」講座の実施

- ①開催頻度：2024年10月～2025年1月開催
- ②会場：学・三軒茶屋キャンパス第8号館
- ③概要：ヘルスケア・ビジネスの開発をテーマに、主としてドラッグストアを舞台としたマーケティング戦略を学ぶ講座の開催に協力。
- ④講師：JAHlの部会構成員の他、外部の専門家を含めて、動員できる最適の講師に会場まで出向いてもらい、講座を開催

## 8) 帝京平成大学薬学部「臨床実習」支援

- ①開催頻度：2024年9月～2025年1月
- ②会場：帝京平成大学薬学部
- ③概要：帝京平成大学薬学部4年生を対象に、コミュニケーションを中心とした臨床実習を行うに際して、実際の臨床での経験を持ったドラッグストア各社の専門家が臨床講師となって実習（保険薬局、病棟での情報収集と服薬指導、フィジカルアセスメント、オンライン服薬指導等）を支援。
- ④講師：JAHlの関連ドラッグストアから現場経験の豊富な薬剤師等を臨床講師として大学まで出向いて臨床実習を支援してもらう。

## (3) 情報収集・提供事業

### 1) プラネタリーヘルス・イニシアティブ (PHI) 活動

- ①PHの概要：2023年3月開催の第4回年次大会を通じて注目された「プラネタリーヘルス」（人と地球の全てのシステムは相互に依存し合い密接に繋がっており、ヘルスケアはヒトを含む地球の全体最適化を目指すことによって実現するという考え方）であり、大会冒頭にはわが国PH推進の第一人者である気鋭の内科医・認定産業医の桐村里紗氏による基調講演とパネルディスカッションが行われた。
- ②PHIの活動：この大会を契機に、わが国学界および産業界におけるPHの急速な普及と国際社会へのキャッチアップを図るために、JAHl内にイニシアティブを立ち上げる機運が高まり、4月～6月の3か月準備会合を重ねた上で、7月27日第1回会合を開催した。
- ③今後のスケジュール：2024年3月3日（日）、医・農・食の専門家が一堂に会したシンポジウムを日比谷図書館大ホールにて開催し、今後の活動の方向性を探ったが、このシンポジウムを契機に、各地域からのシンポジウム開催要請があり、2024年8月3日（土）には米子市において鳥取県、米子市、境港市、江府町の後援を得て、鳥取シンポジウムを開催予定。

### 2) JAHl ホームページの運営

- ①「トピックス」頁の維持更新
- ②「What's New」頁の維持更新
- ③類縁機関との相互リンク
- ④その他必要なメンテナンス

### 3) 定時記者会見の開催

- ①開催日時：毎月第2火曜日の16:00～17:00
- ②会場：J A H I 多目的ホール
- ③内容：a. 日本ヘルスケア協会の最近の動きの報告（10分）  
b. ヘルスケアの推進に大きな影響を及ぼすと考えられる新しい機器・サービス、あるいは概念を発表した当事者を招聘しての紹介  
c. スピーカーとの質疑応答
- ④募集対象：主として、ヘルスケア関連の雑誌・新聞の関係者。
- ⑤その他：2023年4月次からJ A H I 法人・個人会員にも開放。

### (4) 普及推進事業

- (1)～(3)の各事業で重要テーマとされた分野の活動成果を、ホームページでの報告、出版・映像資料などを通じ、広く一般市民に最先端のヘルスケアの知識を伝える。

## 収支予算書

2024年8月1日から2025年7月31日まで

(単位:円)

科	目	公益目的 事業会計	法人会計	合計	適用
I.	一般正味財産増減の部				
1.	経常増減の部				
(1)	経常収益				
	基本財産運用益	0	0	0	
	基本財産利息収入			0	
	受取会費	7,390,000	10,700,000	18,090,000	
	法人会費	7,000,000	10,500,000	17,500,000	
	個人会費	390,000	200,000	590,000	
	事業収益	3,700,000	0	3,700,000	
	セミナー事業収入	100,000		100,000	
	普及推進事業収入	3,600,000		3,600,000	
	受取寄付金	18,000,000	0	18,000,000	
	受取寄付金	18,000,000		18,000,000	
	雑収入	0	3,300	3,300	
	受取利息収入		300	300	
	雑収入		3,000	3,000	
	経常収益計	29,090,000	10,703,300	39,793,300	
(2)	経常費用				
	事業費	29,649,052		29,649,052	
	役員報酬	3,500,000		3,500,000	
	給与手当	7,285,638		7,285,638	
	法定福利費	1,078,564		1,078,564	
	助成金支出	5,000,000		5,000,000	
	会議費	280,000		280,000	
	渉外費	16,000		16,000	
	旅費交通費	200,000		200,000	
	通信運搬費	49,000		49,000	
	減価償却費	159,440		159,440	
	消耗什器備品費	45,000		45,000	
	印刷製本費	508,000		508,000	
	地代家賃	6,384,000		6,384,000	
	光熱水料費	386,560		386,560	
	リース料	334,650		334,650	
	諸謝金	658,000		658,000	
	委託費	3,764,200		3,764,200	

## 収支予算書

2024年8月1日から2025年7月31日まで

(単位:円)

科	目	公益目的 事業会計	法人会計	合計	適用
管理費			10,676,010	10,676,010	
給与手当			3,122,418	3,122,418	
法定福利費			312,242	312,242	
会議費			22,000	22,000	
旅費交通費			739,000	739,000	
通信運搬費			471,000	471,000	
減価償却費			12,560	12,560	
消耗什器備品費			625,000	625,000	
広告宣伝費			118,000	118,000	
印刷製本費			20,000	20,000	
地代家賃			2,736,000	2,736,000	
光熱水料費			30,440	30,440	
リース料			26,350	26,350	
渉外費			353,000	353,000	
諸謝金			60,000	60,000	
支払報酬			1,000,000	1,000,000	
租税公課			1,000	1,000	
支払手数料			368,000	368,000	
HP維持管理費			146,000	146,000	
保守管理費			93,000	93,000	
委託費			400,000	400,000	
雑費			20,000	20,000	
経常費用計		29,649,052	10,676,010	40,325,062	
当期経常増減額		△559,052	27,290	△531,762	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益				0	
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用				0	
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増減額					
(3) 他会計振替額		27,290	△27,290	0	
当期一般正味財産増減額		△531,762	0	△531,762	
一般正味財産期首残高		3,580,036		3,580,036	
一般正味財産期末残高		3,048,274	0	3,048,274	
II. 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高					
指定正味財産期末残高					
III. 正味財産期末残高		3,048,274	0	3,048,274	